

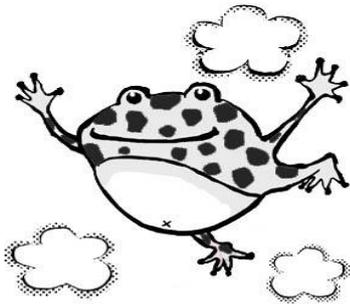
かえる便り 30年度24号

平成30年12月19日

寒冷の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年も残すところ2週間になりますが、皆様は年度当初に掲げた目標をどれだけ達成できましたか？私自身は何も出来ませんでした。出来なかった原因は、全て自分自身の努力不足です。目標達成に向け真摯に取り組んでいれば、出来ることを掲げていたのですが・・・。

人を成長させる要因の一つに、目に見えない空気＝その場の雰囲気があると思います。良い気が流れている組織が人を成長させると同時に、組織自体も成長すると思います。“心技体において仲間を助ける存在になるよう導く”という目標は全く達成できませんでした。部員達と関わる時間は毎日3時間しかありません。彼らを観察できない時間にあつた情報を集めても限界があります。だからこそ、部活中に心構えや考え方等を話し、便りを出しているのですが…。部の 空気 をよくすることが出来なかった事が残念です。



今年一年明るい話題がなかった部ですが、成績トップ(クラス)の部員が3人いました。高校生として当たり前の“両立を図る”努力を真摯にしてくれたと思います。自分を伸ばすうえで大切なことは、言い訳をしないことです。言い訳をすることが当たり前＝習慣になっていることに気付かないことが問題です。自省してみましょう!!

話に 耳を傾け真剣に聞いているか。物を 深くみる努力をしているか。

“赤い”という言葉から何をイメージしますか？これに、“まるい”や“小さい”という言葉から様々なものを考えると思います。私たちがイメージできるのは、過去の経験や学びから得た知識などを基にしています。その推測する力が物事をするうえでは凄く重要になってきます。サッカーも社会生活も同様です。

赤ちゃんがイメージをすることが出来ないのは、認識して考えを膨らませることが出来ないからですね。高校生であるならば、聞いた事・観た事 から、何をしなければならぬかを理解して行動することが出来ると思うのですが…。

今年最後の便りになると思います。一年間大変お世話になりました。